

子どものICT利活用能力に係る  
保護者の意識に関する調査報告書  
【概要版】

平成26年7月  
総務省情報通信政策研究所

# 調査の目的・概要

## 調査の背景及び目的

- 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部の「創造的IT人材育成方針」(平成25年12月20日)では、すべての国民がITを生活の中で存分に利活用していくことが求められるところ、小学生、中学生、高校生等を対象とする人材育成においては、保護者の役割等が特に重要であるとされている。
- 本調査は、これまで明らかにされることが少なかった、子どものICT利活用に係る保護者の現状認識や子どもへの期待・不安並びに家庭での対応状況等を把握することにより、子どものICT利活用能力向上に向けた保護者関連施策立案等の一助とすることを目的とする。

## 調査概要

総務省情報通信政策研究所と、東京工業大学 清水康敬名誉教授、尚美学園大学 小泉力一教授の共同研究として、下記のとおり調査を実施。

- **調査方法** 小学生～高校生までの子どもを持つ保護者を対象とするWebアンケートにより実施
- **調査期間** 平成26年2月26日～3月3日(予備調査) / 平成26年3月4日(火)～3月7日(金)
- **サンプル** 下記4,800サンプルを調査会社Webアンケートモニターより抽出  
※Web調査のため、回答結果に一定の偏りがある可能性がある点に留意が必要

サンプル区分	サンプルサイズ
小学1年生～高校3年生(12学年)の各学年の第一子(男子)をもつ保護者	200 × 12 = 2,400 (各200サンプル・学年別12カテゴリ)
小学1年生～高校3年生(12学年)の各学年の第一子(女子)をもつ保護者	200 × 12 = 2,400 (各200サンプル・学年別12カテゴリ)
合計	4,800

# 調査結果のポイント

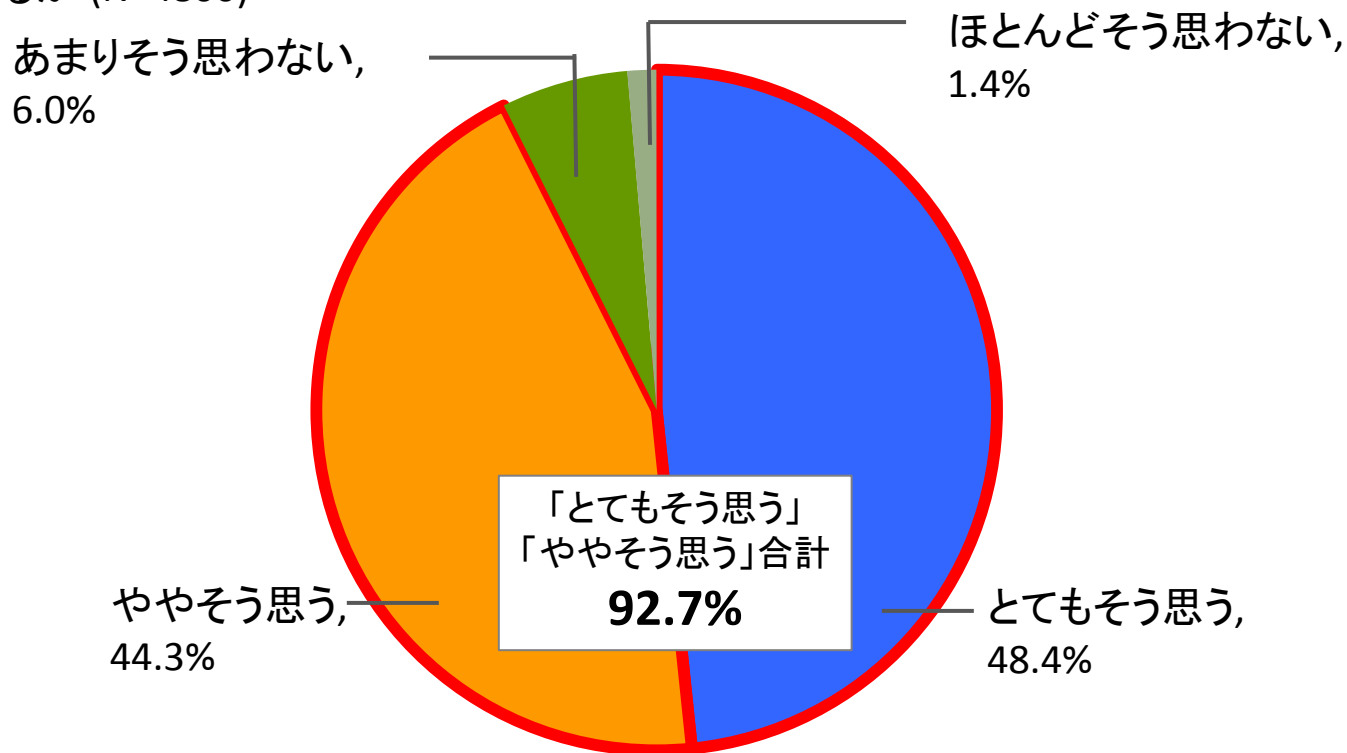
大項目	小項目	概要	頁
1) 子どものICT利活用能力の取得・向上に関する保護者の期待	①ICT利活用能力の必要性	9割以上の保護者が <b>子どもの将来にとってICTの利活用が必要</b> であると認識	3
2) 子どもの情報通信端末利用状況	①子どもの情報通信端末利用率	ノートパソコンと通信機能付きゲーム端末の利用率は、それぞれ <b>5割以上</b>	4
	②子どもの携帯電話等占有率	携帯電話・PHS・スマートフォンのいずれかを占有する子どもは小学校低学年で <b>約2割</b> 、高校生では <b>約9割</b>	4
	③情報通信端末の利用開始時期	子どもが端末に接触し始める時期は <b>年々早期化</b>	5
3) 子どものICT利活用実態に関する保護者の認識	①子どもの端末利用習熟度	最も低いデスクトップパソコンで <b>6割</b> 、最も高いスマートフォンで <b>8割以上</b> の保護者が子どもが端末を使いこなしていると認識	6
	②子どもの端末利用目的	子どもの通信機能付きゲーム端末・音楽プレーヤーの <b>利用目的が分からない</b> とする保護者の割合が比較的大きい	7
	③子どものICTスキル評価	パソコンやインターネットについて <b>子どもより自分の方が詳しい</b> とする保護者が多い	8
	④子どものICT利用への不安	子どもの情報通信端末利用時の <b>リスクに不安を感じる</b> 保護者の割合は大きい	9
4) 家庭における保護者の指導の状況等	①家庭での指導に対する認識	<b>家庭での指導</b> が子どものICT利活用能力習得のために重要とする保護者が <b>6割以上</b>	10
	②家庭での指導実施割合	<b>家庭で現在実際に子どもに指導</b> を行っているとする保護者は <b>5割以上</b>	10
	③家庭での指導内容	子どもの学年が進むにつれ変化( <b>高学年ではネット利用マナー・リスク等の指導割合が増加</b> )	11
	④保護者自身への指導に対する要望	子どもへの指導のため <b>自分自身への指導を望む</b> 保護者は <b>約5割</b>	12

# 1) 子どものICT利活用能力の取得・向上に関する保護者の期待

## ① ICT利活用能力の必要性

- パソコンやインターネットを利活用できるようになることは、子どもの将来にとって必要であると考える保護者が9割以上(92.7%)

- 子どもがパソコンやインターネットを利活用できるようになることは、子どもの将来にとって必要であると考えるか (N=4800)

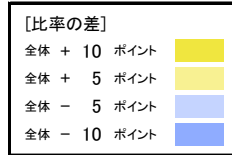


## 2) 子どもの情報通信端末利用状況

### ① 子どもの情報通信端末利用率

- ノートパソコン、通信機能付きゲーム端末は全体で5割以上が利用
- ノートパソコンは全体で利用率が5割以上、高校生では6割以上、通信機能付きゲーム端末は全体で5割以上、小学校高学年で6割以上が利用

		子どもが現在情報通信端末を利用している割合							
		携帯電話・PHS	スマートフォン	タブレットパソコン	ノートパソコン	デスクトップパソコン	通信機能のあるゲーム端末 (ニンテンドー3DS、PSPなど)	通信機能のある音楽プレーヤー (Pod touch、通信機能付Walkman'など)	
		N	%	%	%	%	%	%	%
全体		4800	35.8	38.2	15.6	51.6	32.6	50.7	17.9
子どもの学年	小学校1～3年	1200	33.9	24.0	12.8	40.2	24.4	46.4	5.8
	小学校4～6年	1200	37.5	25.1	17.6	49.2	30.6	63.4	12.7
	中学生	1200	38.8	35.6	18.6	54.6	37.5	54.1	24.1
	高校生	1200	33.0	68.3	13.4	62.5	37.9	38.8	29.1



### ② 子どもの携帯電話等占有率

- 小学校低学年で約2割が携帯電話等を占有
- 高校生では約9割が占有

		子どもの携帯電話・PHS又はスマートフォン占有状況		
		N	占有していない %	占有している %
全体		4800	53.2	46.8
子どもの学年	小学校1～3年	1200	79.0	21.0
	小学校4～6年	1200	69.8	30.3
	中学生	1200	50.0	50.0
	高校生	1200	13.9	86.1



## 2) 子どもの情報通信端末利用状況

### ③ 情報通信端末の利用開始時期

- 子どもが初めて情報通信端末に接触する年齢は、おおむね学年が下がるほど早期化
- 子どもが小学校入学前に端末を利用開始する割合は、ここ3年程度で大きく上昇  
(調査時点で小学校1年生の子どもが入学前に利用開始した割合は、小学校4年生に比べ増加)

		N	各情報通信端末を子どもが小学校入学前に利用開始した割合						
			携帯電話・PHS	スマートフォン	タブレットパソコン	ノートパソコン	デスクトップパソコン	ゲーム端末(ニンテンドー3DS、PSPなど)	通信機能のある音楽プレーヤー( iPod touch、通信機能付 Walkman、など)
			%	%	%	%	%	%	%
全体		4800	5.3	2.0	1.3	8.1	9.8	12.5	1.3
子どもの学年	小学校1年	400	15.8	10.3	6.5	21.8	17.8	21.5	3.3
	小学校2年	400	↑12.8	↑6.5	↑3.7	↑16.0	↑16.0	↑19.8	↑2.5
	小学校3年	400	8.2	3.0	2.3	10.0	11.3	15.0	2.0
	小学校4年	400	4.5	1.0	0.3	10.8	6.8	16.3	1.8
	小学校5年	400	4.8	1.3	1.0	7.3	11.0	16.0	1.5
	小学校6年	400	5.8	0.5	1.0	5.8	8.5	13.3	0.5
	中学校1年	400	4.0	0.5	0.5	5.7	9.5	12.5	0.5
	中学校2年	400	1.8	0.3	0.3	4.5	7.3	10.5	1.5
	中学校3年	400	1.0	0.3	0.2	3.5	6.0	7.2	0.5
	高校1年	400	1.8	0.3	0.3	5.8	9.5	8.0	0.3
	高校2年	400	1.8	0.0	0.0	2.5	6.5	4.3	0.3
	高校3年	400	1.0	0.0	0.0	4.3	8.0	6.3	0.5

[比率の差]

全体 + 10 ポイント

全体 + 5 ポイント

全体 - 5 ポイント

全体 - 10 ポイント

### 3) 子どものICT利活用実態に関する保護者の認識

#### ① 子どもの端末利用習熟度

- 子どもが情報通信端末を使いこなしているとする保護者は、最も割合が小さいデスクトップパソコンでも6割以上(64.8%)、スマートフォン、タブレットパソコンでは8割以上(81.4%、80.5%)
- 携帯電話・PHS、スマートフォン、タブレットパソコンを使用している小学校低学年の子どもについて、5割以上の保護者は子どもが各端末を使いこなしていると認識(56.7%、52.6%、66.9%)

[比率の差]	
全体 + 10 ポイント	
全体 + 5 ポイント	
全体 - 5 ポイント	
全体 - 10 ポイント	

		情報通信端末を子どもが使いこなしているとする保護者の割合※				
		携帯電話・PHS	スマートフォン	タブレットパソコン	ノートパソコン	デスクトップパソコン
		% (実数)	% (実数)	% (実数)	% (実数)	% (実数)
全体		73.6 (2208/2999)	81.4 (1535/1886)	80.5 (682/847)	67.7 (1925/2843)	64.8 (1460/2254)
子どもの学年	小学校 1～3年	56.8 (351/618)	52.6 (159/302)	66.9 (115/172)	40.9 (228/558)	41.3 (179/433)
	小学校 4～6年	68.4 (456/667)	65.9 (209/317)	81.0 (187/231)	61.5 (413/672)	61.5 (330/537)
	中学生	77.9 (597/766)	85.9 (377/439)	87.0 (221/254)	75.8 (570/752)	73.2 (447/611)
	高校生	84.8 (804/948)	95.4 (790/828)	83.7 (159/190)	82.9 (714/861)	74.9 (504/673)

※子どもの各端末の使用について、「現在使っている」又は「以前使っていたが、現在使っていない」と回答した保護者に対し、それら端末の使用に対する子どもの習熟度について「とてもよく使いこなしている」「普通に使いこなしている」「あまり使いこなしてはいない」「使いこなしているとは全くいえない」のいずれかを尋ねる設問において、「とてもよく使いこなしている」又は「普通に使いこなしている」を選択した保護者の割合を示す。

### 3) 子どものICT利活用実態に関する保護者の認識

#### ② 子どもの端末利用目的

- 子どもの通信機能付きゲーム端末・音楽プレーヤの利用目的が分からないとする保護者の割合はそれぞれ28.2%、15.0%で、他の端末(4~8%)より比較的高い

[比率の差]	
全体 + 10 ポイント	
全体 + 5 ポイント	
全体 - 5 ポイント	
全体 - 10 ポイント	

		子どもがどのような目的で使用しているのか分からないとする割合※						
		携帯電話・PHS	スマートフォン	タブレットパソコン	ノートパソコン	デスクトップパソコン	通信機能のあるゲーム端末(ニンテンドーeDS、PSPなど)	通信機能のある音楽プレーヤー(iPod touch、通信機能付Walkman、など)
		% (実数)	% (実数)	% (実数)	% (実数)	% (実数)	% (実数)	% (実数)
全体		5.3 (91/1719)	5.6 (102/1835)	4.9 (37/749)	6.5 (160/2477)	7.4 (116/1565)	28.2 (686/2433)	15.0 (129/859)
子どもの学年	小学校1~3年	8.6 (16/450)	15.6 (45/288)	7.1 (11/154)	13.5 (65/482)	14.3 (42/293)	25.0 (139/557)	20.3 (14/69)
	小学校4~6年	3.6 (16/450)	5.0 (15/301)	3.3 (7/211)	3.2 (19/590)	4.1 (15/367)	24.0 (183/761)	13.2 (20/152)
	中学生	3.6 (17/466)	5.4 (23/427)	3.6 (8/223)	4.7 (31/655)	6.9 (31/450)	29.0 (188/649)	13.8 (40/289)
	高校生	5.8 (23/396)	2.3 (19/819)	6.8 (11/161)	6.0 (45/750)	6.2 (28/455)	37.8 (176/466)	15.8 (55/349)

※子どもが各端末を「現在使っている」と回答している保護者の数に対する、子どもの各端末使用目的が「分からない」とした保護者の数の割合を示す。







### 3) 子どものICT利活用実態に関する保護者の認識

#### ③ 子どものICTスキル評価

- パソコンやインターネットの使い方については、技術面・リスク面の双方とも、子どもより自分の方が詳しいとする保護者が全学年を通じて多い
- 全学年を通じ、技術面よりもリスク面について子どもより自分の方が詳しいとする保護者が多い

		N	ICT機器の取扱い方法などの技術的な内容について				インターネットの使用に係るリスク、安全確保上の課題等について			
			自分の方が詳しいと思う	ほぼ同じだと思う	子どもの方が詳しいと思う	分からない	自分の方が詳しいと思う	ほぼ同じだと思う	子どもの方が詳しいと思う	分からない
			%	%	%	%	%	%	%	%
全体		4800	69.4	15.3	11.4	3.9	77.5	13.3	4.1	5.0
子どもの学年	小学校1～3年	1200	85.3	6.5	2.3	5.9	87.5	5.1	0.7	6.8
	小学校4～6年	1200	79.8	12.3	3.8	4.2	85.3	8.8	1.2	4.7
	中学生	1200	62.1	19.3	14.6	4.0	74.2	16.0	4.6	5.3
	高校生	1200	50.6	23.0	24.8	1.6	63.2	23.4	10.1	3.3

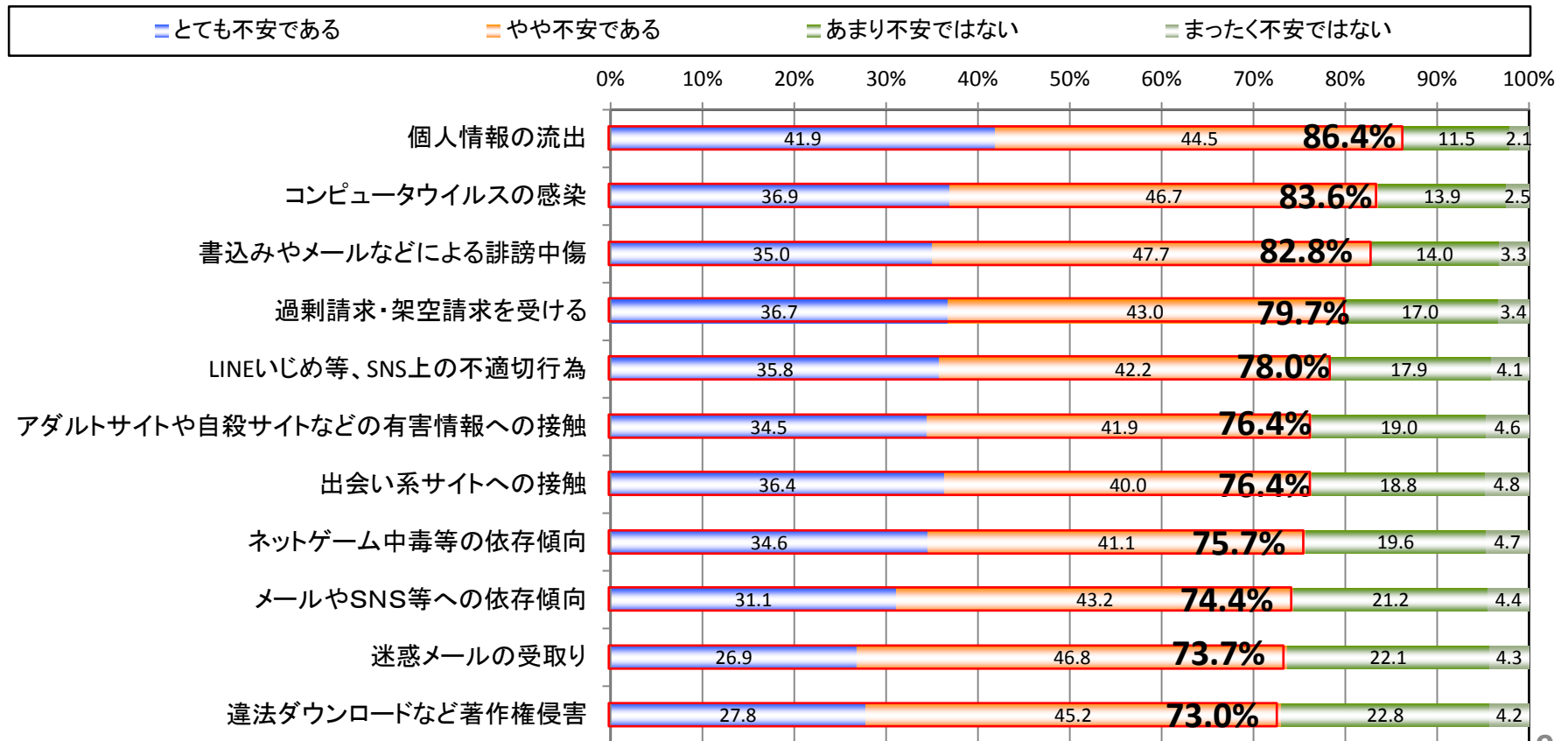
[比率の差]	
全体 + 10 ポイント	
全体 + 5 ポイント	
全体 - 5 ポイント	
全体 - 10 ポイント	

### 3) 子どものICT利活用実態に関する保護者の認識

#### ④ 子どものICT利用への不安

- 子どもが情報通信端末を利用する際の様々なリスクについて、いずれのリスクでも「とても不安である」又は「やや不安である」とする保護者が7割以上
- 特に「個人情報の流出」、「コンピュータウイルスの感染」、「書込みやメールなどによる誹謗中傷」に関して不安を感じる割合が8割以上と大きい(86.4%、83.6%、82.7%)

#### ■ 子どもがパソコンやインターネットを利活用する際の不安要素に対してどう考えるか (N=4800)



## 4) 家庭における保護者の指導の状況等

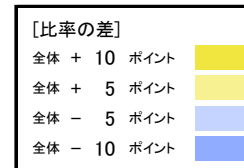
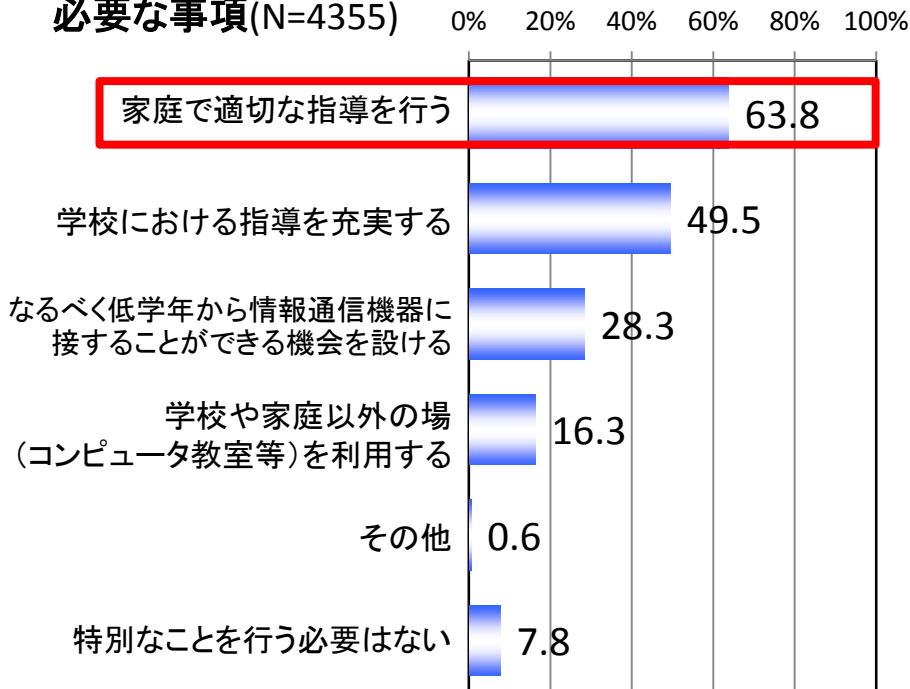
### ① 家庭での指導に対する認識

- 子どものICT利活用能力獲得のために必要なこととして、家庭での適切な指導を挙げる保護者が6割以上(63.8%)と最も多く、学校における指導の充実(49.5%)を上回る

### ② 家庭での指導実施割合

- 家庭において日常的又は時々子どもに対する指導を行っているとする保護者の割合は約5割(50.6%)  
保護者の性別では、男性で54.9%、女性で44.8%が家庭において日常的又は時々子どもへの指導を実施

### ■ 子どもが将来、ICT利活用能力を身につけるために必要な事項(N=4355)



	N	子どもへのICT利活用に係る指導状況					その他
		日常的に行っている	時々行っている	現在はほとんど行っていないが、かつて行ったことがある	全く行っていない	自分も行っていないが、配偶者は行っている、または現在はほとんど行っていないが、かつて行ったことがある	
	N	%	%	%	%	%	%
全体	4800	7.8	42.8	21.0	24.0	3.9	0.4
		<b>50.6%</b>					
保護者性別							
男性	2782	7.8	47.1	21.5	22.2	1.4	0.1
		<b>54.9%</b>					
女性	2018	7.9	36.9	20.4	26.6	7.4	0.8
		<b>44.8%</b>					

## 4) 家庭における保護者の指導の状況等

### ③ 家庭での指導内容

- 指導を実施している保護者のうち、機器・アプリ操作等の指導を行っている割合は、全学年を通じて4割～6割程度である
- 子どもが高学年になるにつれ、マナー・リスク等に関する指導を実施する保護者の割合が高まる傾向が見られる




		N	子どもにICT利活用に係る指導を行っている場合の指導内容					その他
			パソコンやブラウザの操作や設定方法について説明した	アプリケーションの使い方について説明した	法令やマナーについて説明した	ウイルス感染の可能性について説明した	ネット上に悪意のある人もいることについて説明した	
			%	%	%	%	%	
全体		3625	55.4	45.2	37.5	50.8	54.5	1.0
保護者性別	小学校1～3年	712	53.7	42.4	21.5	25.6	37.2	2.4
	小学校4～6年	946	57.6	42.8	34.0	43.9	53.6	0.7
	中学生	980	54.1	47.6	42.1	60.9	60.4	0.7
	高校生	987	55.7	47.3	47.6	65.8	61.9	0.5

[比率の差]	
全体 + 10 ポイント	
全体 + 5 ポイント	
全体 - 5 ポイント	
全体 - 10 ポイント	

## 4) 家庭における保護者の指導の状況等

### ④ 保護者自身への指導に対する要望

- 子どもへのICT利活用に係る指導のため、自身への指導を望む保護者は5割以上(53.4%)
- 特に女性の保護者において自分自身への指導を望む傾向が強い(男性45.7%、女性64.0%)
- 仕事でICTを利活用していない保護者や、無職・主婦等で指導を望む割合が約6割と高いが、ICT利活用を中心とした仕事をしている保護者、仕事で常時ICTを利活用する保護者も、4~5割は指導を要望

[比率の差]	
全体 + 10 ポイント	
全体 + 5 ポイント	
全体 - 5 ポイント	
全体 - 10 ポイント	

		N	子どもへのICT利活用に係る指導のため自身に対する指導を望むか	
			そう思う※	そう思わない※
			%	%
全体		4800	53.4	46.6
保護者性別	男性	2782	45.7	54.3
	女性	2018	64.0	36.0
保護者の仕事でのICT活用状況	勤務先において、コンピュータやインターネットの利活用を中心とした仕事をしている(プログラマーやシステムエンジニアなど)	384	40.9	59.4
	勤務先において、コンピュータやインターネットを常時利活用して仕事をしている	1167	48.5	51.5
	勤務先において、コンピュータやインターネットを必要に応じて利活用して仕事をしている	1260	51.6	48.4
	勤務先においては、コンピュータやインターネットを仕事で使うことはほとんどない	776	57.6	42.4
	その他	21	47.6	52.4
	無職/専業主婦(主夫)	1192	61.5	38.5

※自身への指導を望むかについて「そう思う」「とてもそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」のいずれかを尋ねる設問への回答。「そう思う」は「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計割合、「そう思わない」は「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計割合を示す。